

11

令和元年度 団体



市民活動助成金

活用実績報告集

11の団体が行った事業の記録集

平成31年
4月1日



令和2年
3月31日

はじめての
一歩
コース

■HappineSS



■岩倉 MGD 合唱団

ステップ
アップ
コース

■キミノセカイ～kids☆photo～



■岩倉市子ども会連絡協議会

■巨匠発掘委員会



■古文書に親しむ会



■おこまま

■NPO 法人はんどいんはんど



■3Rいわくら

■NPO 法人ローカル・ワイド・ウェブいわくら

イベント
コース



令和元年度市民活動助成金活用実績報告集もくじ

1. 岩倉市市民活動助成金とは

(はじめの一步コース)

2. 介護施設・児童施設等での慰問活動【HappineSS】

(ステップアップコース)

3. ミニ・いわくら【キミノセカイ～kids☆photo～岩倉支部】

4. 岩倉MGD合唱団 音楽フェスティバル【岩倉MGD合唱団】

5. 未来の巨匠を発掘する事業【巨匠発掘委員会】

6. 古文書に親しみ、いにしえに想いをはせ「岩倉」を学ぶ事業【古文書に親しむ会】

7. 親子でイモイモ大作戦【岩倉市子ども会連絡協議会】

8. 孤育てじゃないよ！全員集合♪【NPO 法人はんどいんはんど】

9. 不用品を手作りする事で物を大切に作る心を育む事業【3Rいわくら】

10. 子育て世帯の母親による楽器演奏事業【おこまま】

11. 音楽のあるまちづくり」推進支援事業【NPO 法人ローカル・ワイド・ウェブいわくら】

(イベントコース)

12. ボラボラアウトドアクッキング

「ぐりぐら！おおきなおおきなカステラをみんなでつくってたべよう！」

【岩倉ボランティアサークル】

13. 令和2年度の市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

市民活動助成金についての問い合わせ先

岩倉市総務部協働安全課市民協働グループ（市役所6階）

Tel：(0587) 38-5803

e-mail：kyoudou@city.iwakura.lg.jp

市民活動助成金についての相談窓口

岩倉市市民活動支援センター 岩倉市昭和町二丁目17番地 市民プラザ内

Tel：(0587) 37-0257

e-mail：city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp

岩倉市市民活動助成金とは

地域が抱える諸課題の解決を図り、市民の福祉向上やまちづくりに貢献するなど、市民活動団体が主体的に取り組むモデル的な事業に対して財政支援を行い、団体活動の活性化や市民活動の拡充を図るものです。

応募された事業については、目的、事業内容などを公開の場で発表する「企画提案発表会」を経て、助成する団体と助成金の額を決定します。

助成の種類及び助成額

《はじめの一步コース》

これから市民活動に携わりたい団体、設立から3年以内の団体の活動に対し助成します。

補助期間：1年 **補助金額**：限度額5万円 **補助率**：90%以内

《ステップアップコース》

年間を通して計画的に事業が実施され、3年以上の継続した活動が実施される事業に対して助成します。

補助期間：1年ごと **補助金額**：限度額15万円

補助率：1回目 70%以内

2回目 50%以内

3回目 30%以内

《イベントコース》

対象年度内に実施する単年度計画のイベント等の活動に助成します。

補助期間：1年 **補助金額**：限度額5万円 **補助率**：50%以内

- ※ 複数の団体と協働して行う場合には、どの部門も補助率を10%加算します。
- ※ 令和2年度の助成金対象事業は、13ページに掲載されています。
- ※ 令和3年度の募集に関しては、令和2年11月中旬に公表されます。

令和3年度市民活動助成金についての予定

令和2年11月13日、14日：市民活動助成金説明会&個別相談会

令和2年12月上旬：申請書類受付**開始**

令和2年12月下旬：申請書類受付**締切**

令和3年3月上旬：企画提案発表会

令和3年3月中旬：内定通知

令和3年4月上旬：決定通知

令和3年4月～：助成金事業開始

介護施設・児童施設等での慰問活動



事業総額 36,556 円 対象経費 36,556 円 助成額 32,000 円

・主に印刷製本費、会場使用料として利用

◆目的

普段なかなか触れることのない生演奏を聴いたり、音楽に親しみを持ってもらう。
“音楽のあるまちづくり”の活性化につなげる。

◆事業報告

【内容】

- ・8/18 乳児親子向けファミリーコンサート 生涯学習センター 参加者約 40 人
ヴァイオリン×エレクトーン コンサート
- ・2/9 幼児向けキッズコンサート 生涯学習センター 参加者約 40 人
エレクトーン・ピアノ・ピアニカ コンサート
- ※3/14 さんえすコンサート コロナウイルス感染予防の為中止

【成果】

- ・広報のおかげで沢山の方々にご来場頂けた。
- ・一番多く頂いた感想は「気がねなくコンサートを楽しめて嬉しかった」
- ・みんなで同じ空間で同じ音楽で楽しむ喜びを改めて感じた。

◆課題等

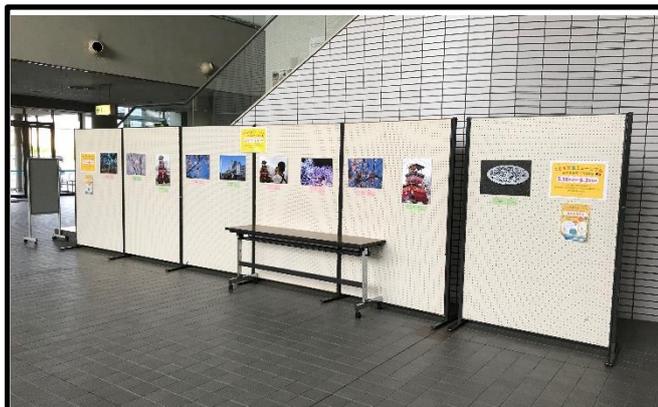
【苦勞・工夫・課題】

- ・生涯学習センター内スタジオは、土足禁止でつるつるのフローリングの為、靴下で走り回ってしまっていたお子様達がいって危なかった。

【改善等】

- ・冬は靴下の必要時期になってしまう為、コンサートを冬は避けたり、あらかじめ、靴下をめぐよう呼びかけ等を今後はしていく。

ミニ・いわくら



事業総額 613,033 円 対象経費 308,531 円 助成額 150,000 円

・主に消耗品費、食糧費、借上料として利用

◆目的

子どもに関わる制度や事業に対して、当事者の意見を反映し、「意見表明権」の保障を大切に考えるとともに、子どもが主体となり、子どもの社会参画のあり方を、大人も共に学ぶこと。

◆事業報告

【内容】

- ・11/9 子ども実行委員会発足、顔合わせ おさや糸店 12名
- ・11/23 有識者による講演「子どものまち事業」「子どもの権利条約」37名
- ・12/28・1/4 お店、まちの仕組み、必要なもの検討 総合体育文化センター 延19名
- ・1/25・26 ミニ・いわくら 市民プラザ 参加者 延133名
- ・2/1 ふりかえり 総合体育文化センター 12名

【成果】

- ・実際のまちでも起こる問題が、こどものまちでも浮き彫りとなり、活発な子どもたちの意見が聴け、まちで起こった問題点は、その都度子どもたちの力で解決していく姿が印象的。
- ・メンバーにより、まちのカタチは変わっていくので、継続開催していくことで、その年々のまちづくりができるとうれしいと感じた。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・子どもたちの自主性を重んじたため、良い点もあったが、時間的に厳しい部分もあった。
- ・初めにお金を配布したが、働く（稼ぐ）ことができず、食事ができない子が発生した。
- ・次回開催へ期待が大きく、すでに企画を考えている様子、今後どう運営していくかが課題。

【改善等】

- ・問題が起きても、子どもの意見を聴く、話合う、任せる、の徹底が大人の課題で、要改善。
- ・子ども目線で真剣に関わってもらえる経験は、子どもたちの財産になったと感じた。
- ・実行委員には、中高生に加わってもらおうとより良いと感じた。

岩倉MGD合唱団 音楽フェスティバル



事業総額 220,198 円 対象経費 220,198 円 助成額 150,000 円

・主に講師料、人件費として利用

◆目的

音楽大出身の演奏家が指導することによって、音楽技術を身につけ、自信をつける。
音楽に対して壁を感じず、音楽に溢れたまちづくりを目指す。

◆事業報告

【内容】

- ・6月より練習を開始。参加者は岩倉MGD合唱団員15名、一般参加者5名、での活動。
- ・練習内容は、ストレッチ・発声練習で歌の基礎を付ける。
- ・5曲 課題曲があり、メロディやハーモニーを練習。
- ・音取り用のCDを作成し、参加者には自宅での練習もお願いした。

【成果】

- ・歌の完成度は、12月には合格ラインに達していた。
- ・ステージ入退場の練習や立ち方、楽譜の持ち方等まで指導を受けられた。
- ・2/29 音楽フェスティバルはコロナウイルス感染防止のため、前日に中止を決定した。

◆課題等

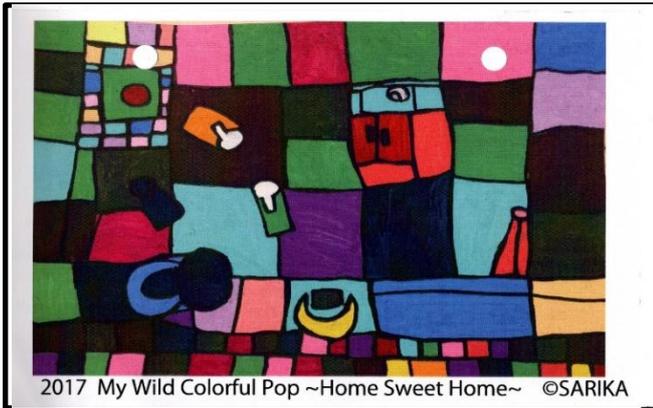
【苦労・工夫・課題】

- ・広報活動に苦労した。対象年齢を考えると、SNSでの広報は、効果がうすいと思い、かわらばんや岩倉市広報、フリーペーパーを活用した。
- ・音取り用のCDは、「助けになり良かった」と感想が聞けたので、今後も活用したい。
- ・今回のコンサートは、中止になったので、集客数が不明で残念。

【改善等】

- ・広報誌に掲載したのは、各1度だけだったが、初期段階から2~3ヶ月毎に掲載したら認知度が変わる可能性がある。

未来の巨匠を発掘する事業



事業総額 188,934 円 対象経費 188,934 円 助成額 132,000 円

・主に印刷製本費として利用

◆目的

地元に残り作家がいたとしても展覧会自体することができない。地元芸術家を誇りに思い応援し、芸術文化の発展と共に作家も成長し、自慢できる存在になる。

◆事業報告

【内容】

- ・5/27～6/2 巨匠発掘展 市役所 2 階ギャラリー 観客 700 人
- ・8/31～9/12 イチカの世界展とライブ コミュニティカフェかがよひ 観客 400 人
- ・11/1～11/30 年賀状コンペ 2020 コミュニティカフェかがよひ 観客 600 人
- ・2/15～2/27 沙里香展～世界をみつけた日 3～ カフェかがよひ 観客 294 人
- ・3/1～3/7 沙里香展～世界をみつけた日 3～ コロナウイルス感染予防の為中止

【成果】

- ・作家達も展覧会を通して様々な人々と交流できたうえ、様々な知識を得たり、経験をしたりする事ができ、新しい一歩を踏み出すことができた。
- ・岩倉に芸術を広める活動ができた。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・計画した展示がキャンセルになる事やコロナの影響で会場が閉鎖される事があった。
- ・展示する作家に展示内容や作品の方向性をアドバイスした。
- ・展示が急にできなくなった時の対応方法。

【改善等】

- ・キャンセルになる可能性もある前提で計画を作る。
- ・なるべくお金は使わない方法で活動する。

古文書に親しみ、いにしえに想いをはせ「岩倉」を学ぶ事業



事業総額 251,985 円 対象経費 251,985 円 助成額 64,000 円

・主に講師料、消耗品費として利用

◆ 目的

古文書を読み解く人材の育成と輩出。岩倉の歴史を知り、語り継ぎ、郷土愛を育んでいく。岩倉に所蔵されている古文書を調査、分類して、資料として役立つよう整理する。

◆ 事業報告

【内容】

- ・例会 毎月第2・第4水曜日 9:30～11:30 市民プラザ 会議室1
- ・一般市民向け夏期特別講座 8/5～8/7 19:00～21:00 市民プラザ 参加10名
- ・古文書の展示会 7/24～8/14 市民プラザ・1/12～1/18 生涯学習センター
- ・古文書「御触状送帳」を入手（石仏村、八剣村）、講師から取扱い・整理方法を学ぶ。

【成果】

- ・長戸家文書を中心に解説中、村内の生活にも興味がわき、積極的に取り組めた。
- ・夏休み講座は準備が大変だったが、参加者は喜んでくれた。今後も継続。講座後2名入会。
- ・展示会は概ね成功。「展示を見ました」と言ってくれる方が増えた。
- ・普段から古文書等の収集を望んでいると広く発信し、心に留め置いて貰うことの大切さを知る。

◆ 課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・夏休み講座 今年是一般人と共に中・高生にも親んでもらえるよう、午前中に開催する。
- ・展示会 立ち止まってゆっくりご覧いただけるよう、飾り方にも工夫する。

【改善等】

- ・夏休み講座 夏休みの午前中に開催し広く参加者を募るよう企画する。
- ・展示の時期や内容を吟味し、今後は解説者をつけ、身近に感じてもらえるように配慮する。

親子でイモイモ大作戦



事業総額 73,187 円 対象経費 58,687 円 助成額 17,000 円

・主に借上料、人件費として利用 *協働団体：ボランティアサークル・OYGクラブ

◆目的

就学前及び低学年児童に自然体験を通し、人と人、人と地域のつながりを作ること。
親も地域や人とのつながりを深め、地域事業へ参加して、生き生きとした暮らしを送る。

◆事業報告

【内容】

- ・5/12 苗植え 岩子連第1農園 17 家族 48 名 JA 愛知北が芋の種類、植え方、病気の解説後、2 種類 3 本を親子で協力して植えた。第2 農園は主催者側で植えた。
- ・10/5 収穫祭 第1 農園 19 家族 53 名 JA 愛知北による掘り方の説明後、苗植えた家族が芋掘りした。その後希望の家で焼き芋をした。
- ・岩倉ボランティアサークル(IVC)子どもたちのまとめ役、焼き芋の管理、ゲームを行った。
- ・いわくらOYGクラブ(OYG)鬼まんじゅう作り、餅つきを行った。

【成果】

- ・家族内、交流の無い家族間、OYG、IVCそして岩子連のメンバーとの交流の場が持てた。
- ・普段の生活では、調理されたものしか食べる機会がないものを、土に触れ、苗から育てて実りを収穫する、食べ物を作り食べるまでの過程を感じて、味わってもらうことができた。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・どこにだれが植えたか分かりやすいように、番号を記した杭を立てた。
- ・JAに焼き芋機を持って来てもらって、焼いて食べた。(雨天時のため用意)
- ・参加者に郵送で事前連絡を行うことで、スケジュールを把握できるようにした。
- ・2次募集での集まりが少なかった。周知の方法など検討する必要あり。

【改善等】

- ・募集の周知を、子どもに関わる各種団体への案内や、子どもが参加するイベント等で行う。

孤育てじゃないよ！全員集合♪



事業総額 50,035 円 対象経費 50,035 円 助成額 25,000 円

・主に印刷製本費として利用

◆目的

お父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃん2世代での家事・育児に対する認識の違いや、立場が違ってても相互的に理解し合う関係を育む。地域で育児を支え合う事が出来る社会を作る。

◆事業報告

【内容】

- ・11/16 第1回多世代交流C A F E 生涯学習センター 21名
ボードゲームあそび・駄菓子のつかみ取り・綿あめを作り、みんなで食べる。
- ・3/1 第2回多世代交流会 市民プラザ 30名
伝統工芸品のまゆ玉を使い、季節の行事の節句をお祝いしながら、多世代交流を行う。
※コロナウイルス感染予防に伴う公共施設の臨時休館により中止。

【成果】

- ・11/16 父母、祖父母の子育て・孫育ての川柳とお子さまからの父母に向けた川柳が集まった。
- ・幅広い年代の方に集まってもらえた。数回のイベントを振り返ると参加者は常連さんが多い。
- ・3/1 コロナウイルスで中止になったが、講師の方との新しい繋がりができた。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・おじいちゃん・おばあちゃん世代の方の参加が少なく、参加申し込みに苦勞した。
- ・11/16 綿あめへの反応がとてもよかったので2回目でも同様に行おうと思った。今後の企画の際にも考えていきたい。

【改善等】

- ・おじいちゃん・おばあちゃん世代との繋がりを今後、検討していく。
- ・川柳の募集のチラシを今後も継続していく。また必要があればチラシの内容も検討・改善しながら少しでも多く集めていきたい。

不用品を手作りする事で物を大切にする心を育む事業



事業総額 23,961 円 対象経費 23,961 円 助成額 11,000 円

・主に備品購入費・消耗品費として利用

◆目的

捨てる物をもう一度利用して、自分だけの物を作り、心豊かに生活できたら、素敵な人生になると思うので、子供から大人まで資源を大切にする意識を高める。

◆事業報告

【内容】

- ・布ぞうり作成等活動 毎月第2・4木曜日
- ・市内7つの公立保育園の年長組に布ぞうり配布 9月2日

【成果】

- ・子どもたちの喜ぶ笑顔がみれたことが何よりの成果です。
- ・保育園で履いていただくこともでき、物を大切にする気持ちが育まれていることを願う。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・布ぞうりは時間がかかる作業でしたが、今年度は作成器具を購入したことで、効率的に行うことができました。ぞうり作成の実演もできると、より効果があったと思われませんが、実行まで至りませんでした。

【改善等】

- ・園児の足の平均サイズがどんどん大きくなっていると感じる。履き物は少しのズレでも影響が大きいもので、事前調査などで対応していきたい。
- ・ぞうり作成実演に向けて、計画を立てていきたい。

子育て世帯の母親による楽器演奏事業



事業総額 19,900 円 対象経費 19,900 円 助成額 5,000 円

- ・主に会場使用料として利用

◆目的

演奏活動を通し、子育てをしている母親同士の情報交換・交流の場をつくる。その母親たちの姿を子どもたちに見せることで、情操が豊かになり、社会性を身につけること。

◆事業報告

【内容】

- ・イベントでの演奏活動 5/17、6/27、7/20、9/29、12/12、1/25 市内各施設
妊産婦交流会、お誕生会、市民プラザまつり、110 番の日キャンペーン等での演奏
- ・お下がりあげますの会開催 4/18、7/12、10/16、2/6 各 40~50 名
場所：岩倉市総合体育文化センター
- ・演奏練習活動・情報交換・子ども同士の交流 週一回程度 市民プラザ

【成果】

- ・アピタ岩倉店で演奏会や 110 番の日キャンペーンなど、地域イベントに呼んでいただいた。
- ・市民プラザまつりでは、幅広い年代に演奏を聴いていただけた。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・【お下がりあげますの会】では、車で来所されたが駐車場所が足りず、参加できない親子が多くいたため、今年から総合体育文化センターで実施し課題を達成した。
- ・運営スタッフの多くは、未就学児を抱えながら会場準備など行っていた。今年度より子ども見守りスタッフとして市民活動支援センターのまちづくりネットワーク登録ボランティアに来ていただき、運営がスムーズにできた。

【改善等】

- ・ボランティアや他団体と連携を強めていくことがメンバーの負担軽減並びに運営の効率化に寄与すると考える。

「音楽のあるまちづくり」推進支援事業



事業総額 64,489 円 対象経費 64,489 円 助成額 19,000 円

・主に会場使用料、消耗品費として利用

◆目的

「音楽」を通して、年齢、性別、国籍、生活環境、健康状態などを越えたコミュニケーションが図られ、楽しさを共有して生きがいをもち健康で文化的な暮らしを送っている。

◆事業報告

【内容】

- ・推進会議 5/12、7/15、9/16、11/17 おてらいぶ、プロジェクト!まつりの企画等
- ・テーマごとプロジェクトの立ち上げ支援 実行委員会 14 回
- ・おてらいぶ×マルシェ 6/9 演奏者 7 グループ、出展者 8 店舗、参加者約 200 人
- ・おんしんプロジェクト!まつり 1/19 演奏者 6 グループ、参加者約 100 人
- ・情報紙「おんしん」の発行 4 回 (12,13,14,15 号)

【成果】

- ・推進会議の話し合いの中から他団体とのコラボが連鎖的に拡がり、様々な立場の人たちと音楽を楽しむ土壌が生まれた
- ・実行委員会形式で取り組むことができ、それぞれのスタッフが活躍し、また、そこから新しい市民活動団体も誕生した。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】

- ・推進会議のミニライブに、次のイベントの演奏者を起用し、イベントの宣伝を兼ねた。
- ・3 月に FINAL PARTY を行う予定が、新型コロナウイルスの影響で開催出来なかった。

【改善等】

- ・音楽を求める人たちと、演奏の機会を求めるミュージシャンとの橋渡しがよりスムーズに行えるよう、マッチングシステムの見直しを行う
- ・新型コロナウイルスのため中止した FINAL PARTY を、将来同窓会のような形で開催したい。

ボラボラアウトドアクッキング

「ぐりぐら！おおきなおおきなカステラをみんなで作ってたべよう！」



事業総額 82,987円 対象経費 82,987円 助成額 28,000円

・主に消耗品費、食糧費として利用

◆目的

小さな頃からの憧れであった小さな夢や物語の中の世界だったものを、成長した今になって目の前に実現することで、未来を担う子どもたちに無限の可能性を与えることができる。

◆事業報告

【内容】

- ・ 9/15 青少年宿泊研修施設「希望の家」約 41 人
テーマ：絵本の中の世界を現実に
班別レクリエーション・かまど作り・巨大カステラ作り
- ・ 3/15 反省会

【成果】

- ・ 普段家庭では作れないような大きさのフライパンでカステラを作り、ワクワクした気持ちだった。予定よりも多い人数でしたが、各班協力し合い取り組み、協調性が育めた。
- ・ アンケートでは、「カステラを作るのが楽しかった」「薪割りをするのが楽しかった」という声をいただいた。

◆課題等

【苦勞・工夫・課題】

- ・ カステラを作る前に「ぐりとぐら」の読み聞かせで絵本の世界をイメージしてもらう。
- ・ 事前送付後にレシピを変更したため「しおりを見ながら一緒につくる」が出来なかった。
- ・ 過去 1 番の申込をいただき、全員参加してもらいたいと規模を予定より拡大して開催した。

【改善等】

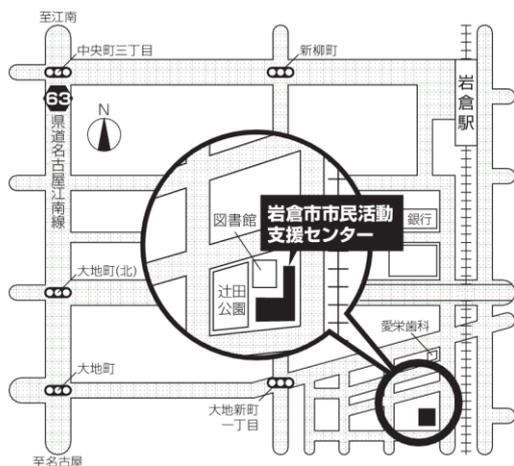
- ・ 残暑の気温の高い時間に活動したが、時期・時間をもう少し調整できたらよかった。
- ・ 試作会に参加できなかったスタッフに指導する時間ができたら、当日もっと動けたと思う。
- ・ 積極的に様々な活動を行えば、子供・大人も成長でき、団体や地域の活性化に繋がると思う。

令和2年度 市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介

コース	番号	団体名	事業名	内容
はじめの 一歩	1	岩倉昭和歌謡 倶楽部	昭和歌謡をうたっ て元気になろう！	①「昭和の日コンサート」の開催(4月) ②「8月だよ！全員集合」の開催(8月) ③「岩倉紅白歌合戦」の開催(12月) ④その他各種イベント出演 ⑤慰問活動
はじめの 一歩	2	地域のしあわせ を考える会	いわくるくるネット ワークを創ろう☆	市民に役立つ情報を誰でも簡単に得ることができ、市民同士の交流もできる、インターネットを介したネットワークを市民の意見・アイデアを基に作る。 ①企画会議 全10回 ②講座 2回
はじめの 一歩	3	いわくらしょうが っこう	小学生になって、 岩倉街道を中心に まちの研究をする 事業	回想法を用いて、同時代を生き、体験が共有できる仲間と交流し、コミュニケーションを深め、岩倉の歴史について学びながら、岩倉街道を中心に地域のみんなで魅力的なまちづくりを目指す。 ・小学校の勉強をおさらいしたり、岩倉街道の歴史や現状について調べたりする。 ・学校で行われるような行事(社会見学・林間学校)など行う。 ・商店をはじめとする地域の人々との交流を深める。他市町の商店街や歴史などについても研究する。
はじめの 一歩	4	いわくら保育保 存会	いわくら保育フォー ラム	子どもを安心して保育園に預けられる環境づくりに取り組む。会議を重ね、2月に「いわくら保育フォーラム」を開催し、多くの人々に保育について考えてもらう。 「保育の岩倉」として近隣他市から注目されてきた「いわくら保育」を全園で提供できるような仕組みづくりを目指す。
ステップ アップ 1/3	5	HappineSS	介護施設・保育園 等での慰問活動・ キッズコンサート企 画	ヴァイオリンとピアノ(エレクトーン)を用いた演奏会を企画。 老若男女問わず沢山の人に音楽に触れてもらい、楽しんでもらう。「音楽のあるまちづくり」に貢献する。 ①(6月、3月)介護施設において慰問演奏会の実施 ②(8月、2月)乳児親子向けキッズコンサート、ファミリーコンサートの実施 ③(12月)市外保育園2ヶ所での慰問演奏会の実施
ステップ アップ 1/3	6	ひだまり会	市民の健康づくりと 憩いの場を提供す る事業「ひだまりサ ロン」	高齢者の居場所づくりや交流を深め、心身の健康を保つための事業を開催する。 ①(月1回)健康ヨガ ②(月4回)「カケナイ・スワナイ・ノマナイ」を約束事とする健康マージャンの実施 ③(月4回)あみもの教室 ④(随時)交流サロン開催
ステップ アップ 2/3	7	キミノセカイ～ Kids☆Photo～ 岩倉支部	ミニ・いわくら	ドイツ・ミュンヘン市で行われてきた「ミニ・ミュンヘン」を手本としたこどものまち事業。 子ども実行委員と大人実行委員を発足させ、子どものまち事業や子ども条約、岩倉というまちについて、など研修や講演を通して学ぶ。 学んだ知識をもとに計画を立て、8月に2日間の「ミニ・いわくら」を開催する。
ステップ アップ 3/3	8	古文書に親しむ 会	古文書に親しみ、 いにしえに想いを はせ「岩倉」を学ぶ 事業	現存する岩倉の古文書を読み解き、岩倉の歴史を紐解くことで、岩倉に親しみ・興味をもってもらう。 ①(月2回)岩倉の歴史に触れながら、古文書の解読をするための講義を年間を通して開催する。 ②初心者や若者に向け、古文書に触れる機会を提供する。 ③市内各所で成果物を展示し、より多くの市民に古文書を知ってもらう。 ④(通年)岩倉に所蔵されている古文書を解読・翻刻し、資料として残せるものを作成する。
イベント	9	岩倉ボランティ アサークル	トリックオアトリート！ ボラボラはっぴー ハロウィンフェス ティバル	各班でテーマを決め自分だけのハロウィンの衣装をつくる。会場の設営などは全員で行い、プログラムに沿ってハロウィンフェスティバルを開催する。参加者同士の絆を深めたり、創造力を養うことを目的とする。



岩倉市市民活動支援センター



- 住所 / 〒482-0011 岩倉市昭和町二丁目17番地
- TEL・FAX / (0587)37-0257
- 開館時間 / 9:00-21:30 ■ 休館日 / 年末年始
- メールアドレス city-iwakuraplaza@city.iwakura.lg.jp
- ホームページ <http://www.iwakura-plaza.jp/shimin/>

下記の市民活動支援センターのブログにリンクしています

- 市民活動支援センターNEWS ■ 岩倉の市民活動団体
- ムービーいわくら ■ 岩倉インフォメーション

メールマガジン登録はコチラから > iwakura_ad@lw.ne.jp

facebook 岩倉市市民活動支援センター **twitter** @IwakuraCSC

インターネット で検索してください

